

上映企画

## 日本の女性映画人(2)——1970-1980年代

2024年2月6日(火) - 3月24日(日) 長瀬記念ホール OZU

日本映画の歴史において、監督のみならず多様な職域で女性映画人たちが手腕を発揮してきました。2022年度に開催した「日本の女性映画人(1)——無声映画期から1960年代まで」に続き、**1970-80年代に生じた映画界の構造変化の中で躍進した女性映画人たちを取り上げ、監督・脚本・製作などの分野に着目して、劇映画からドキュメンタリーまで計74作品(47プログラム)を上映します。**

1970年代以降は独立プロを基盤に、女性監督たちが活路を切り拓いていきます。女優出身の左幸子『遠い一本の道』(1977)や宮城まり子『ねむの木の詩がきこえる』(1977)は社会運動に根差した題材で大きな反響を呼び、自主製作の動向から頭角を現した鷺樹丸は『わらじ片っぱ』(1976)で前衛的表現を開拓しました。1980年代にかけて続々と女性が監督を手がけるようになり、作品の多様化が顕著になっていきます。

一方、撮影所体制がゆらぐ中で、ジャンル映画において女性脚本家たちが台頭してきたこともこの時期の特徴です。『メカゴジラの逆襲』(1975)の高山由紀子や『ビー・バップ・ハイスクール』(1985)の那須真知子などが娯楽映画に新風を吹き込みました。

さらに今回は小特集として、記録映画作家を取り上げ、音声を画と対等に捉えて革新的なドキュメンタリーを打ち出した時枝俊江と女性史を語り継ぐ作品群を手がけた藤原智子の業績を再評価します。

日本映画の転換期に新機軸をもたらした女性映画人たちの足跡を振り返ることにより、日本映画史の再考につながる新たな視座が切り拓かれることを願っております。



### 見どころ

#### ▼女性監督作品の多様化 前衛的表現を開拓した自主映画作家・鷺樹丸の発見!

自主製作の動向から頭角を現した鷺樹丸(本名・村上靖子)は、『わらじ片っぱ』(1976)によって女性の自由と抑圧をテーマに時空を交錯させて描き、前衛的表現を開拓しました。壮大なスケールの自主製作に取り組み、インディペンデント作家としての先駆的作品となりました。日本映画史のミッシング・リンクとも位置づけられる重要な発掘にご注目ください。

#### ▼ジャンル映画にも活躍の場を広げた女性脚本家たち

1950-60年代には文芸映画の隆盛を背景として水木洋子や田中澄江などが健筆をふるいましたが、その後、撮影所体制のゆらぐ中で、時代劇や特撮映画も含めて幅広いジャンル映画にも女性脚本家が活躍の場を広げました。娯楽映画に新風を吹き込んだ高山由紀子や那須真知子をはじめ、東宝青春映画路線で活躍した重森孝子や、NHK大河ドラマ初の女性脚本家となった大野靖子などの作品を上映します。

#### ▼ドキュメンタリー作家の小特集— I 時枝俊江、II 藤原智子

女性監督たちが実績を積み重ねてきた記録映画では、様々な秀作群が送り出されてきました。岩波映画製作所で羽田澄子と並んで活躍した時枝俊江は、音声を画と対等に捉えて革新的なドキュメンタリーを打ち出しました。ライフワークとなった幼児教育を扱った作品群をはじめ、21作品の上映によって幅広い業績を再評価します。また、藤原智子は日本の女性史について多面的にアプローチした骨太な記録映画を手がけました(7作品を上映)。

**開催概要**

企画名：日本の女性映画人（2）——1970-1980年代

（英題：Women Who Made Japanese Cinema [Part 2]: From the 1970s to the 1980s）

会期：2024年2月6日（火）—3月24日（日）※月曜休館

会場：国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール OZU [2階]

HP：https://www.nfaj.go.jp/exhibition/women202312/ ※【12月22日16時】に公開します

問合せ：050-5541-8600（ハローダイヤル）

チケット：詳細はHPをご確認ください。

**上映作品**（74作品、47プログラム） ※**NEW**とある作品は、ニュープリントやDCPなど新たに上映素材を作製しています。

	対象者	上映作品	年	監督名
<b>監督</b>				
1	鷺樹丸 （村上靖子）	わらじ片っぽ <b>NEW</b>	1976	鷺樹丸
		きこばたとん	1993	村上靖子
2	宮城まり子	ねむの木の詩がきこえる	1977	宮城まり子
3	左幸子	遠い一本の道	1977	左幸子
4	沖山秀子 珠瑠美	グレープフルーツのような女 性乱の日々 <b>NEW</b>	1981	沖山秀子
		熟女スワップ若妻レス 乱行恥態 [『熟女スワップ 獣のように』改題版]	1994	珠瑠美
5	栗崎碧	曾根崎心中	1981	栗崎碧
6	倉岡明子	六ヶ所人間記	1985	倉岡明子、山邨伸貴
7	槇坪夢鶴子	若人よ いのちと愛のメッセージ	1987	槇坪夢鶴子
8	浜野佐知	ダブルEカップ 完熟	1988	浜野佐知
		（生）性体験 世にもみだらな女たち [『アブノーマル・ペッティング』改題]	1989	浜野佐知
9	熊谷博子	よみがえれカレーズ	1989	土本典昭、熊谷博子、 アブドゥル・ラティーフ
10	熊谷博子	映画をつくる女性たち	2004	熊谷博子
<b>脚本家</b>				
11	宮内婦貴子	その人は女教師 <b>NEW</b>	1970	出目昌伸
12	服部佳	新座頭市物語 笠間の血祭り <b>NEW</b>	1973	安田公義
13	重森孝子	二十歳の原点	1973	大森健次郎
14	大野靖子	沖田総司	1974	出目昌伸
15	高山由紀子	メカゴジラの逆襲	1975	本多猪四郎
16	鹿水晶子 木村智美	団地妻 二人だけの夜 <b>NEW</b>	1978	林功
		イヴちゃんの花びら	1984	中原俊
17	田中晶子	ダイヤモンドは傷つかない <b>NEW</b>	1982	藤田敏八
18	筒井ともみ	それから	1985	森田芳光
19	那須真知子	ビー・バップ・ハイスクール	1985	那須博之



『わらじ片っぽ』



『ねむの木の詩がきこえる』



『遠い一本の道』

製作者				
20	小林佐智子	極私的エロス・恋歌 1974	1974	原一男
21	原田美枝子	ミスター・ミセス・ミス・ロンリー	1980	神代辰巳
22	高野悦子	恋の浮島	1982	パウロ・ローシャ
23	大林恭子	廃市	1984	大林宣彦
24	朝倉大介 (佐藤啓子)	人妻の悶え ザ・不倫 [『狂った情事 おしゃぶり』改題版]	1981	磯村一路
		変態家族 兄貴の嫁さん	1984	周防正行
25	飯野久	黒い雨	1989	今村昌平
26	岡本みね子	大誘拐 RAINBOW KIDS	1991	岡本喜八
美術				
27	朝倉摂	修羅	1971	松本俊夫
28	菊川芳江	四畳半襖の裏張り	1973	神代辰巳
		江戸川乱歩 猿奇館 屋根裏の散歩者	1976	田中登
29	星笠恵子	ウンタマギルー	1989	高嶺剛



『恋の浮島』



『黒い雨』



『修羅』

実験映画				
30	出光真子	AT YUKIGAYA TWO	1974	出光真子
		父の情景	1981	出光真子
		たわむれときまぐれと	1984	出光真子
		ざわめきのもとで	1985	出光真子
		加恵、女の子でしょ! <span style="border: 1px solid blue; padding: 0 2px;">NEW</span>	1996	出光真子
31	九條映子・田中未知	迷宮譚	1975	寺山修司
		疱瘡譚	1975	寺山修司
		審判	1975	寺山修司
アニメーション				
32	木下小夜子	ピカドン	1978	木下蓮三
	長崎 希	水仙月の四日	1990	長崎 希
	中村和子	火の鳥2772 愛のコスモゾーン	1980	総監督：手塚治虫



『ざわめきのもとで』(c)STUDIO IDEMITSU



『加恵、女の子でしょ!』(c)STUDIO IDEMITSU

【小特集Ⅰ 時枝俊江】 10プログラム (21作品)				
33	初期作品集	町の政治 べんきょうするお母さん	1957	時枝俊江
		This is TOKYO	1960	時枝俊江
		新しいガス源をもとめて <b>NEW</b>	1965	時枝俊江
34	夜明けの国		1967	時枝俊江
35	文京区作品集	文教の歩みをたずねて 文京の文化財	1975	時枝俊江
		建造物との対話 <b>NEW</b>	1980	時枝俊江
		ぶんきょうゆかりの文人たち 観潮楼をめぐって <b>NEW</b>	1988	時枝俊江
36	伝統文化の記録映画集	越後上布	1980-81	時枝俊江
		歌舞伎の魅力 舞台 <b>NEW</b>	1981	時枝俊江
37	幼児教育 60年代作品集	ともだち	1961	時枝俊江
		ケンちゃんたちの音楽修行 ヤマハ音楽教室四才児初期の記録	1965	時枝俊江
38	幼児教育 70年代作品集	学級集団の成長 ある教師の保育日誌から	1977	時枝俊江
		子どもをみる目 ある保育者の実践記録から	1978	時枝俊江
		光った水とろうよ 幼児の知的好奇心をさぐる	1979	時枝俊江
39	幼児教育 80年代作品集	こころをひらく 育ちあいをもとめる保育	1981	時枝俊江
		みどりぐみ こ・う・じ・げ・ん・ば 幼児の自己充実をもとめて <b>NEW</b>	1982	時枝俊江
		みる、きく、たしかめる 創りだす自分のせかい	1983	時枝俊江
		いいこといいこと考えた 遊びでひろがる数量の世界	1985	時枝俊江
40	病院はきらいだ 老人の在宅ケアを支えるネットワーク <b>NEW</b>		1991	時枝俊江
41	農民とともに 地域医療にとりくみ 50年		1995	時枝俊江
42	地域をつむぐ 佐久総合病院小海町診療所から <b>NEW</b>		1996	時枝俊江
【小特集Ⅱ 藤原智子】 5プログラム (7作品)				
43	文化映画集	歌舞伎の立廻り	1981	藤原智子
		歌舞伎俳優研修教材シリーズ No.8 歌舞伎の後見	1992	藤原智子
		誕生 その歓び	1986	藤原智子
44	杉の子たちの 50年 学童疎開から明日へのメッセージ <b>NEW</b>		1995	藤原智子
45	ルイズ その旅立ち		1997	藤原智子
46	伝説の舞姫 崔承喜 金梅子が追う民族の心		2000	藤原智子
47	ペアテの贈りもの <b>NEW</b>		2004	藤原智子



『夜明けの国』



『ケンちゃんたちの音楽修行』



『ペアテの贈りもの』

《本特集に関するお問い合わせ》

国立映画アーカイブ 広報担当者行

MAIL : pr@nfaj.go.jp TEL : 03-3561-0823 FAX : 03-3561-0830